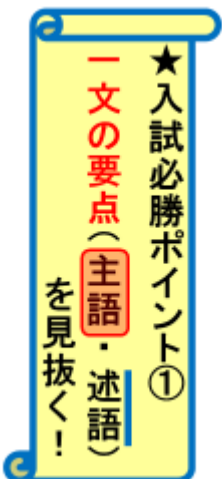


令和二年度 埼玉県公立高校入試問題 解説

※入試問題につきましては、テレビ埼玉の番組ホームページでご確認ください。

それでは国語の授業を始めます。

まずは左記をご覧ください。本日のポイントは二つあります。まず、一つ目は



一文の要点、文の中で「誰が・何が」にあたる「主語」と「どうする・どんなだ・何だ」にあたる「述語」を見抜くように心掛けてください。見抜くときは、普通、述語は文末にあることが多いので、倒置法や述語が長いなど特別な場合を除いてまずは述語を探し、それに合う主語を探すように心掛けてください。

では、一つ例題をやってみたいと思います。

次の一文の主語・述語(一文の要点は何でしょうか？)

【例題】

次の一文の主語と述語を
答えなさい。

勉強することは、例えば、

困難なことを乗り越える忍

耐力や複雑な現象を解きほ

ぐす頭の使い方の習得など、

自身の成長のために役立つ。

先程お伝えしたように、まずは述語から探してみよう。すると、文末の「役立つ」であることが分かりますね。

では、次に主語はどうでしょうか。「役立つ」に対応する主語を探すと、「ことは」が見つかります。

よって、この一文の主語は「ことは」、述語は「役立つ」となることが分かります……が、「ことは」だけですと、意味がよくわかりません。そのようなときは、「意味のまわり」としての主語・述語（これを文法的に主部・述部ともいいます）をpushさえるようにしてください。

そこで、意味のまわりとして主語を考えると、「勉強することは」となることが分かります。

「勉強することは」「役立つ」。

今度は、意味が分かりますね。

このように、一文節だけでは意味がいまいち分りにくい場合は意味のまわりとしての「主語」と「述語」を見抜くように心掛けてください。

【例題】

次の一文の主語と述語を
答えなさい。

勉強することは

役立つ。

「勉強することは」「役立つ」、これがこの一文の「要点」で、筆者が一番伝えたいこととなります。みなさんは、このように要点をつかみながら文章を読み進める練習をしていってください。

では、次に二つ目のポイントに移りたいと思います。

★入試必勝ポイント②
設問の条件
を正確に把握する！

二つ目のポイントは、文章の要点を把握したあとの問題を解くときのコツです。

問題作成者は、設問文の中に、「何を答えてほしいのか」、「本文中のどの箇所を使ってほしいのか」など、問題を解くうえでヒントになる言葉や条件を散りばめてくれます。

そこで、皆さんは漫然と設問文を読むのではなく、「ヒントがどこかに隠されていないか」を意識して読むようにしましょう。

また、設問文を読むときも、「主語」と「述語」をしっかりと押さえましょう。

では、実際に問題を見てみたいと思います。左記は令和二年度埼玉県公立高校入試の大問3の問5の設問文となります。左記を読んで、問われている内容を正確につかむ練習をしてみましょう。

この問題から読み取れる、答えるうえで重要になる表現はどこでしょうか。

問5 ④ 問いを生みだすためのあ

らたな視角を与えてくれるはずだ。とありますが、人類学は、どのような視角を与えてくれると筆者は述べていますか。次の空欄にあてはまる内容を、普遍的、具体的の二つの言葉を使って、四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。(7点)

という視角を与えてくれる。

重要ポイントは、次のようになります。

まず、問われている内容は、傍線部④について、「人類学は（主語）」「どのような視角を与えてくれる（述語）」かです。

そして、探す場所のヒントや、その他の条件として、「普遍的」「具体的」の二語を使うこと、「四十五字以上、五十五字以内」でまとめること、空欄にうまく当てはまる内容で答えることが読み取れます。「指定語句」や「字数制限」も、問題を解く際には注目しましょう。

また、この問題のように、「問いで与えられた文の空欄を埋める問題」では、その空欄前後の語句も、本文から解答の材料を探す際のヒントとなります。今回は空欄の後の「視角」という語句も本文から押さえましょう。

問5 ④ 問いを生みだすためのあ

らたな視角を与えてくれるはずだ。とありますが、人類学は、どのような視角を与えてくれると筆者は述べていますか。次の空欄にあてはまる内容を、普遍的、具体的の二つの言葉を使って、四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。(7点)

という視角を与えてくれる。

では、一つずつ見ていきましょう。

まず、指定語句の「**普遍的**」ですが、この言葉は、本文中に一度しか使われていません。何段落にあったでしょうか。

そうですね、第二段落の最後にありました。

第二段落の最後の二文の要点を(主語・述語を中心に)押さえると、「**人類学は**」「**自然**」と『文化』という分け方自体が「**普遍的なものではない**ということを示している」となりますので、まずは、この部分を問五の解答の材料として押さえておきましょう。

次に、指定語句の「**具体的**」を探してみましょう。何段落にあったでしょうか。

実は何箇所もありました。ここでカギとなるのが、「問いで与えられた文」の空欄後の「**という視角を与えてくれる**」という言葉です。

数箇所あるうちのどの「**具体的**」の近辺に、「**視角**」に当たる言葉があるでしょうか。

そうですね、**第八段落**の「**そうした視点は……**」の「**視点**」が「**視角**」に当たる言葉で直前に説明があることも分かります。

そこで、指示語が指し示す内容の要点と「**そうした視点は……**」を含む一文の要点(主語・述語を中心に)を押さえると、「**人類学的に『自然』を問い直すことは**」「**他の多様な生物**」と「**私たち**」の「**具体的な**」「**緊迫した**」「**関係に目を向ける**」とありますので、ここが「**そうした視点**」の説明となります。

では、解答の材料がそろいましたので、答えをまとめてみてください。

問5 人類学は…四十五字以上、

五十五字以内… (設問)

「自然と文化」という分け方が普遍的なものではなく、他の多様な生物と私たちの具体的な緊迫した関係に目を向ける
(五十三字)

という視角を与えてくれる。

正答率が3・3%と非常に低い問題でしたが、何か出来るような気がしてきませんか？

では、次に「古文」に移りたいと思います。
早速、令和二年度埼玉県公立高校入試の大問4の問2を例に練習しましょう。

問2 ① 新しく作りて参らせたまへ

かし。は「新しく作って差し
上げなさいませ」という意味
ですが、物語を新しく作ると
考えたのは、どうしてですか。
次の空欄にあてはまる内容を、
十字以内で書きなさい。

(3点)

退屈を紛らす物語として

から。

まず、この問いで聞かれている内容は何でしょうか。

傍線部①について、「物語を新しく作る」と考えたのは「**どうしてですか**」が問われていることが分かりますね。そこで、**物語を新しく作る理由**を古文中から探しましょう。

また、この問題では、「問いで与えられた文」もありますので、その文の空欄前後の言葉もヒントになります。今回は空欄の直前に「**退屈を紛らす物語として**」とありますので、それに続く内容としてふさわしいものを探しましょう。

問2 ① 新しく作りて参らせたまへ

かし。は「新しく作って差し上げなさいませ」という意味ですが、**物語を新しく作る**と**考えたのは** **どうしてですか**。次の空欄にあてはまる内容を、**十字以内**で書きなさい。

(3点)

退屈を紛らす物語として

から。

では、古文の内容確認です。

古文の要点も主語・述語を中心にとらえることが基本です。

問題文の古文の要点を読み取ってみてください。

主語・述語を確認していきましょう。その際、原文の隣に口語訳がついている場合は、**これも「設問文の条件」と考えながら読み進めましょう。**

初めの部分は、「大齋院」が「上東門院」に「退屈を紛らすことができる物語がござい
ますか」と「尋ね参らせさせたまへりける」という内容です。

次の部分はどうでしょうか。

「上東門院」が「紫式部」を呼んで「何を差し上げたらよいでしょうか」と「おおせ
られ」という内容です。

その次の部分はどうでしょうか。会話文がありますが、その主語は何でしょうか。補
って意味をつかんでください。

(紫式部)が「めづらしきもの(目新しいもの)」は「何がございましょうか。いや、
ございません」と「申し」という内容です。

このように内容をつかんでいくと、「物語を新しく」作ることになった理由は、「めづ
らしきもの」がないからだということが分かりますね。あとは、この部分を現代語に直
して空欄に当てはまる内容を答えましょう。
たとえば、次のようにまとめられます。

退屈を紛らす物語として

目新しいものがない
(九字)

から。

これも正答率が22・0%と低い問題でしたが、今回のポイントを踏まえれば、解答
の輪郭をつかむことが可能です。

では、最後に本日のポイントをおさらいしましょう。

★入試必勝ポイント

【論説文・古文のポイント】

- ① 一文の要点（主語・述語）を見抜く！
- ② 設問の条件を正確に把握する！

まず一つ目は「一文の要点（主語・述語）を見抜く」ように心掛けてください。
次に二つ目は「設問の条件を正確に把握する」ように心掛けてください。

では、本日の授業はこれで終わりとなります。皆さん、頑張ってください！